

3つのビジョン・18の拠点

ビジョン1 少子高齢化先進国としての持続性確保

「食と健康の達人」拠点 北海道大学

- ・母子の健康……… 母子に最適ケアプラットフォーム
- ・行動が変わる……… データ・ヘルスケアプラットフォーム
- ・げんきなまち……… 健康経営都市プラットフォーム

さりげないセンシングと日常人間ドックで実現する 自助と共助の社会創生拠点 東北大学

- ・環境要因、生活因子のさりげないセンシングを実現する革新的なセンシングデバイス群
- ・遺伝的要因による体質、疾患リスク、薬剤応答性を迅速かつ安価に評価できるゲノムアレイ
- ・生活要因、環境要因、遺伝的要因の情報が一元管理される革新的なPHRプラットフォーム
- ・ヘルスケアビッグデータ解析に基づく将来の健康情報の提供サービス
- ・各種センサデータを統合し、AI解析とオープンAPIによるサービス連携で多種多様なビジネスを創出

活力ある生涯のための

Last 5X イノベーション拠点 京都大学

- ・女性向け、妊産婦向けの「ここらからの健康サポートシステム」
- ・女性・高齢者の栄養不足を解消する「スマート栄養食」
- ・脳梗塞での障害患者のリハビリテーションを行う「歩行学習支援ロボット」
- ・無線で電力を送る/太陽光発電・蓄電デバイスで「コードレスインフラシステム」

真の社会イノベーションを実現する 革新的「健やか力」創造拠点 弘前大学

- ・予兆発見アルゴリズム
- ・予兆発見アプリケーション
- ・認知症サポートシステム

自分で守る健康社会拠点 東京大学

- ・健康医療ICTネットワーク構築と、生活・健康・医療データの統合
- ・家庭で健康増進・予防・超早期診断、予後管理
- ・日帰り治療・外来即時診断

スマートライフケア社会への変革を先導する ものづくりオープンイノベーション拠点

川崎市産業振興財団

- ・難治がんを標的化し駆逐できるナノマシン
- ・採血不要の在宅がん診断システム

運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくる アクティブ・フォー・オール拠点 立命館大学

- ・運動誘導/継続システム
- ・地域連携支援システム(在宅自己管理支援システム)

ビジョン2 豊かな生活環境の構築

「感動」を創造する芸術と科学技術による 共感覚イノベーション拠点 東京藝術大学

- ・文化外交・文化共有の推進、観光産業の発展支援、感性教育の振興に寄与する高精度な文化複製製や移動型美術展示等の共感覚コンテンツ
- ・AIを応用したライブアニメーションコンサートやARを用いた共感覚アプリなど、五感を刺激するメディア
- ・教育、福祉、医療分野へ貢献する、新たな楽器開発と社会実装
- ・STEAM教育、まちづくりに貢献する、ロボットや演劇的手法を用いたコミュニケーションサービス
- ・2020東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムに貢献する、インクルーシブアートコンテンツ

『サイレントボイスとの共感』

地球インクルーシブセンシング研究拠点 東京工業大学

- ・「場」のサイレントボイスとの共感
- ・動物のサイレントボイスとの共感

人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点

大阪大学

- ・生体センサ・活性化デバイス提供
- ・活性化コンサルティングサービス提供

精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

広島大学

- ・リアルタイム感性推定技術
- ・感性情報をユーザの特性に合わせてリアルタイムにフィードバック制御する製品・サービス

ビジョン3 活気ある持続可能な社会の構築

フロンティア有機システムイノベーション拠点

山形大学

- ・コミュニケーションウォール、超薄型有機EL照明
- ・快眠システム、サーカディアンリズム照明
- ・スマート有機システムチップ、センサシート
- ・胆管ステント
- ・食への展開
- ・機能性有機材料

コヒーレントフォトン技術による

イノベーション拠点 東京大学

- ・高精度レーザー加工技術
- ・3次元高速高解像度造形装置
- ・臓器観察システム

感性とデジタル製造を直結し、

生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点

慶應義塾大学

- ・ファッション・アパレル・インテリア・素材分野
- ・看護、介護、福祉分野

革新材料による次世代インフラシステムの構築拠点

金沢工業大学

- ・社会インフラ
- ・都市・住宅インフラ
- ・海洋インフラ

世界の豊かな生活環境と地球規模の持続可能性に

貢献するアクア・イノベーション拠点 信州大学

- ・海水淡水化プラントが世界中で運用可能となり、飲料水、農業用水が不足する地域をなくすことに貢献できます。
- ・超純水製造や、下排水の再生処理システムを高度化し、工業用水確保や水循環に貢献できます。
- ・海水淡水化プラントの普及や、汚染水から重金属等の有害物質を除去する吸着剤や分離膜を社会実装することにより、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)の「安全な水」の供給に貢献します。

人がつながる“移動”イノベーション拠点 名古屋大学

- ・運転が苦手な人も運転できない人も楽しく移動できるモビリティ
- ・カジュアルセンシングで得た自分情報を活用した健康維持と外出誘導
- ・社会参加によって高齢者の自己効力感が増すしくみ

持続的共進化地域創成拠点 九州大学

- ・新しいエネルギーサービスの普及、再生可能エネルギーの大幅な拡大(SDG7, SDG13)
- ・安全かつ安価で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセス提供(SDG11.2)
- ・あんしん・あんぜんで持続可能な社会(SDG11.7)



研究成果を社会的価値へ変換するプラットフォーム

COI DRIVE

Center Of Innovation Drive



センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム
COI DRIVE事業化支援グループ

本プロジェクトに関する詳細・問い合わせは

MAIL info@coi-drive.net

URL https://coi-drive.net/



研究に、事業の視点を 生活に、研究の成果を みんなにとって心地よい社会を

「COI DRIVE」は、大学の研究成果を社会的価値へと変換する新たなエコシステム実現をめざす産学連携のプラットフォームです。研究者と企業・投資家をつなぎ、ステークホルダーが抱えるさまざまな課題解決をサポートしていきます。

- 1 フェーズに応じた研究・事業化の支援
- 2 全国18拠点・約70大学の研究者が参画
- 3 研究者×企業・投資家のマッチング

研究の事業化でボトルネックとなっている課題をサポート



ABOUT

本活動は、COIプログラムの若手人材の活躍促進を目的とした活動の一環であり、複数の大学の参画メンバーによって構成される「COI DRIVE事業化支援グループ」によるものである。

COI...センターオブイノベーションプログラムとは

文部科学省が平成25年度に開始した「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM※)」では、10年後の社会で想定されるニーズを検討し、そこから導き出されるあるべき社会の姿、暮らしのあり方(以下、「ビジョン」という。)を設定しました。センターオブイノベーション(COI)プログラムは、基礎研究段階から実用化を目指した産学連携による研究開発のプログラムです。

※社会的価値の探索を目的とした事業化ではなく、製品やサービスを上市することを目的とした事業化

